

令和2年度 自己評価表 坂町立坂中学校 ～ 創造的でたくましい心豊かな生徒の育成 ～

中期経営目標	短期経営目標	評価項目(具体的な取組・方策)	評価指標	参考値 (令和元年度)	目標値	実績値		評価 (自己評価の結果)	成果と課題	改善策
					令和2年度	中間	最終			
【確かな学力】 主体的に学び、これからの社会に必要な学力を身に付けた生徒の育成	基礎的な学力の定着	・管理職による日常的な授業観察や組織的な研究授業を通じた分かる授業づくり ・毎トレノートの取組 ・定期試験前の質問教室の設定	生徒アンケート「授業がわかる」	—	90%	92.5%			・管理職による日常的な授業観察による「生徒にとってわかる授業」の授業改善、学習規律の徹底、並びに毎トレタイムや質問教室等の取組により、目標値を上回った。 ・感染症対策のため、協働的な学習ができていない状況が続いているが、今できる範囲で実践できることを模索中である。	・引き続き「生徒にとって分かる授業」を実践し、「基礎的な学力の定着」をめざす。教師主導ではなく生徒自らが「問い」や「驚き」「達成感」をもてるような授業展開を工夫することで、「主体的な学び」を進めていく。
	これからの社会に対応した学力の定着	・管理職による日常的な授業観察や組織的な研究授業を通じた授業改善 ・安心して学べる学習環境の徹底	標準学力調査	【標準スコア平均】 旧第6学年 51.0 旧第1学年 49.4 旧第2学年 51.7	同一集団で昨年度よりもアップ	—			—	—
【豊かな心】 自らを律し、自分や友だち、家族やふるさとを大切にすることを心をもった生徒の育成	礼節の向上 ・挨拶 ・黙動清掃	・全教職員による日々の粘り強い指導 ・委員会活動など生徒の自治活動の推進	生徒アンケート	【挨拶】「自ら進んであいさつすることができる」88% 【黙動掃除】「掃除の時間に黙動で時間いっぱい集中して掃除している」92%	①90% ②95%	①93.9% ②96.1%			・全教職員による日々の粘り強い指導や、教師自らが率先して挨拶をすることで、目標値を上回った。特に、気持ちの良い挨拶ができる生徒が増えている。 ・感染症対策のため、年度当初は高い制限を設けた掃除時間となったため、充実させることが難しかった。途中からは、ほぼ通常の形に戻し、教員が丁寧に指導することで、概ね黙動清掃が定着している。	・引き続き全教職員で粘り強く取り組んでいく。特に、3年生については、進路を意識させながら充実を図る。 ・開始時間前に集合することができていない場所がある。教職員による声掛けで意識させるとともに、生徒会執行部を中心に、生徒による相互の声掛けが出てくるように仕組んでいく。
	自他を大切に する心の育成	・防災教育の推進 ・わいがやタイムの実施 ・部活動の充実 ・道徳の時間の充実	生徒アンケート「他者を思いやり、大切にすることができる」	94%	95%	98.3%			・感染症対策のため、わいがやタイムは実施できていない。また、総合的な学習の時間を使った「防災」についても同様である。このため、「人に優しく」を合言葉に、生徒指導通信等を使って、どのような振る舞いをすればよいか生徒に考えさせた。その結果、他者を思いやる気持ちは育ってきている。	・道徳の授業について、今後も学年間で学習展開を練りながら充実を図る。 ・本校の部活動は、他者を思いやる心の育成に関わり効果を上げてきている。今後、2年生を中心とした新体制となるが、よいスタートを切れるように、部活動担当職員や、各顧問が見通しをもちながら指導に当たる。
【たくましい体】 社会で生きて働くためのたくましさをもった生徒の育成	心身の健康の 保持増進	・保健だよりによる保護者・生徒への啓発 ・部活動の充実	生徒アンケート「普段生活の中で体力づくり運動をしている」	75%	80%	83.6%			・保健だよりを5号発行し、心身の健康の保持増進や、特に今年度は感染症対策について啓発を図った。保健体育科では、感染症による外出自粛期間中に、家の中でできるエクササイズのやり方を紹介し、運動を促した。その結果、目標値を上回った。 ・臨時休校明けの6月からは、感染症対策を徹底した上で、部活動の充実を図った。	・今後も保健だよりを定期的に発行し、心身の健康の保持増進を促していく。 ・部活動に顧問がつける体制を維持し、引き続き充実を図る。
	基本的な生活 習慣の定着	・保健だよりによる保護者・生徒への啓発 ・SNSやゲームの使用に係る指導	生徒アンケート「毎朝2品以上の朝食を食べている」	—	60%	78.0%			・保健だよりによる啓発を図った。また、臨時休校中は、日々のスケジュール表を作成させ、規則正しい生活ができるように指導した。 ・臨時休校中に、SNSやゲームの時間が増えた生徒が多かったが、学校生活が元に戻るにしたがい、生活リズムも安定してきた。 ・SNS等について外部から講師を招聘する予定だったが、感染症対策により中止した。	・引き続き保健だよりや生徒指導通信により基本的な生活習慣の定着を促し、SNSやゲームに関わる指導も行っていく。
【信頼される学校】 保護者から信頼される学校づくり	積極的な情報 発信	・ホームページや一斉メールによる情報発信 ・電話や家庭訪問を通じた日常的な保護者との連携	保護者アンケート「坂中の教育に満足している」	85%	90%	84.7%			・毎月学校だよりを発行した。感染症対策により、生徒の活動が制限されているため、生徒の姿を発信する回数は減っている。 ・担任や顧問を中心に、欠席時の連絡や学校の様子等を丁寧に連携した。 ・不審者情報等を一斉メールを使って迅速に発信するようにした。	・引き続き、細やかな情報発信をする。 ・HP等を活用して、できるだけ生徒の様子を発信する。
	主任層を中心 とした活力ある 職員集団の形成	・運営委員会等を活用した人材育成 ・面談等による役割や目標の確認 ・管理職による日々の声掛け	業務改善アンケート	【充実感】「充実感が得られている」 — 【子どもと向き合う時間】「子供と向き合う時間が得られている」 —	70% 70%	90.3% 82.8%			・主任層が企画したことは積極的に実現に結び付け、校内の活性化につながっている。 ・部活動には、教職員が原則について指導している。一方で、感染症対策のため、昼休憩や放課後を使った学習面での個別指導の時間の設定が難しくなっている。	・感染症対策で必ずすべきことと一定程度生徒に任せていいことを整理し、感染症対策と教育活動の充実の両立を図る。

【自己評価 評価基準】 A: 目標は十分達成された(目標値+5%以上) B: 目標は達成された(目標値±4%) C: 目標は達成されなかった(目標値-5%以下) D: 目標は全く達成されなかった(目標値-10%以下)